



寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705
URL <https://www.futabakai.or.jp>
e-mail jiyurakusou@futabakai.or.jp

第96号



令和七年度 事業計画・予算

介護現場における二〇二五年問題

双葉会業務執行理事
寿楽荘施設長 奥平周二

令和七年度がはじまりました。昨年は三月から四月にかけ第五回目、今年は一月から二月にかけて第六回目の新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、利用者様、ご家族、関係者皆様方に心配・迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

二〇二五年問題とは皆さまもご存じのように、日本の人口が最も多い世代である団塊の世代が七十五歳を迎え、全人口に対して約18%、二千万人を超える方達が後期高齢者になる一方で現役世代である労働人口は減少するため、社会全体が深刻な労働人口不足になり様々な問題が生じるとされるものです。特に介護現場においては三十五万人、三十八万人の介護人材が不足するであろうと予測をされてきました。これらの対策として国は、介護職のイメージアップ、労働環境・処遇改善、外国人労働力の導入等に力を入れてきましたが、寿楽荘においては慢性的な人材不足は介護職だけでなく看護職・厨房職・一般職にもおよび職員不足の対応に苦慮する状況が続いています。その中で大きな効果を上げているのが外国人労働者であり、平成三十年度のFTP介護福祉士候補生二名の雇用から、現在ではFTP介護福祉士、FPT介護福祉士候補生、特定技能外国人（介護・外食）、技能実習生、外国人留学生と十七名、法人全体では三十名の外国人職員が在籍しています。今年度も寿楽荘四名、琴清苑四名の雇用を計画しており計三十八名となり大きな勢力となります。国別ではフィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、中国、ミャンマーと六カ国にもなり、日本人職員も刺激を受け、資質の向上、多文化への理解増進等の成果にも繋がっています。

このように外国人労働者の力を借り何とか人員不足に対応していますが、肝心な若い日本人職員が確保できなくては安定した施設運営は望めません。

これからの深刻な人材不足の状況は続くと思われませんが、どうか皆様方には、より一層のご指導・ご助言の程宜しくお願い致します。

寿楽荘事業計画

I.基本方針

利用者が安心して暮らせる施設を目指すには一定基準で職員が確保されていることが必要となる。その人件費を賄うための収入、いわば稼働率は感染症の拡大有無が大きく影響する。よって施設の安定運営のためにも感染症の施設内感染拡大防止対策の徹底を行いたい。施設の構造上、居室単位での対策は難しいため、千歳と和風や1階と2階での拡大防止を目指したい。拡大を防止するために最も必要なのは職員の理解と協力と捉えている。1ケア1消毒の他PPEの着脱（特に脱衣）手順とその必要性をアナウンスしていきたい。

職員に関しては3月末時点で5か国13名の外国人が就労（実習）をしている。令和7年度は更に増え、6か国で20名を超える外国人を予定している。これは介護職だけでみても約3割となる。今後更に外国人職員の割合は増加することが予想されるが、反面、従来通りの求人活動も行い現在の傾向とは矛盾するが外国人雇用に頼らない人材確保にも力を入れ長期的に安定した運営が行えるよう体制整備を行いたい。

介護福祉士は数名の増加が見込まれる。認知症への理解や人権研修、身体拘束廃止・虐待防止研修、BCP訓練等は職員の階層に応じて研修を行っていく。

人員不足を補うための方策として、一定数の人員が必要となる介護入浴では設備の更新により業務の効率化を図りたい。また各部署間の円滑な情報共有と業務の効率化を目的としたICT機器の活用も検討したい。

エアコン設備の更新は複数年度を跨ぎ段階的に行いたい。20年以上が経過した建物は再生エネルギーの活用を含めた大規模修繕として検討を始めたが、資材の高騰が著しく安定した収入確保が第一前提となる。

資金収支計算書(当初予算)	
勘 定 科 目	寿 楽 荘 会 計
事業活動収入計(1)	817,949,000
事業活動支出計(2)	823,000,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-5,051,000
施設整備等収入計(4)	0
施設整備等支出計(5)	7,745,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-7,745,000
その他の活動による収入計(7)	16,796,000
その他の活動による支出計(8)	4,000,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	12,796,000
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0
前期末支払資金残高(12)	253,101,208
当期末支払資金残高(11)+(12)	253,101,208

II.重点目標

(ア) 高齢者虐待防止・予防対策の推進

高齢者虐待防止指針に基づき高齢者虐待防止対策担当者を配置して介護サービスの適正化に努めます。

(イ) 感染症や災害への対応力強化

感染症・災害時対策として策定したBCP（業務継続計画）の定期的な見直しおよび委員会による災害想定ゲーム「KIZUKI」を用いた訓練（シュミレーション）等を計画します。

(ウ) 事故予防対策

事故発生防止のための指針に基づき事故予防安全対策担当者を配置して介護サービスの適正化に努めます。労働環境の整備として衛生委員会の機能を強化し労働状況の適正化に努めます。

(エ) 給食・調理業務の効率化

調理員の増員を可及的速やかに行い給食・調理業務の安定化に努めます。また物価高騰による調理済食材を含む給食材料費の上昇には調理機器の更新による業務の効率化により経費抑制を目指します。

(オ) 創立時よりの理念（理想）、目標の周知

【愛情、人の和、信頼関係の中での慈悲を理想に利用者自体が主体となって生活をエンジョイできる施設を目指していきます。】これら理念と目標の周知に努めます。





リハビリ室より



コロナウイルス感染症拡大防止のため、リハビリが行えない期間があったり、体操や習字・季節の飾り作り等も行えなかったりと、大変な時期もあった冬でした。感染症が収束し、いつも通りの利用者様の生活や、いつも通りの利用者様の笑顔が戻ってきたことの有難みをしみじみと感じる春です。

リハビリ体操では春の訪れを感じながら心も体も動かして頂けるよう、「勝手にしやがれ(沢田研二)」「きよしのズンドコ節(氷川きよし)」「てんとう虫のサンバ(チェリッシュ)」等の歌で歌体操を行いました。習字・季節の飾り作りでは季節の習字や「干支の巳」「桜」等のスクラッチ作品を作りました。



栄養課からの一言

4月の献立ご紹介

4月の献立の中から、利用者様のリクエストメニューと、季節のメニューを一部ご紹介いたします。今月も美味しく召し上がっていただけますように。

2
(水)

1日3食合計の摂取量

熱量	1421kcal
タンパク質	42.9g
脂質	32.1g
炭水化物	249.0g
塩分	9.0g



昼食

- 朝食** 魚の煮付け
厚揚げとぜんまいの和え物/汁物/ご飯
- 昼食** やきそば/ちくわ磯部天ぷら
汁物/ロールケーキ(桜)
- 夕食** 豆腐の野菜あんかけ/じゃがカレー炒め
畑菜のしりしり和え/ご飯



夕食



～季節のメニュー～

4月29日(昼食)

- ・桜ちらし寿司
- ・すまし汁
- ・豚しゃぶ

ミニ知識

今日から
使える!

【心身の疲労を解消しよう!】

新年度を迎え、新しい職場や仲間、転居など「変化」の多い季節です。気温高低差による体温調節や、新しい環境での心の疲労など、心身にストレスがかかり自律神経も乱れがちになります。例えば、心身の疲労回復には山芋、緊張緩和には春菊が良いと言われています。また、しっかり睡眠をとって疲労回復を図り、明日への鋭気を養うことが大切です。

～リクエストメニュー～

4月2日(昼食)

- ・焼きそば
- ・すまし汁
- ・ちくわの磯部天ぷら
- ・桜のロールケーキ



29
(火/祝)

1日3食合計の摂取量

熱量	1585kcal
タンパク質	53.3g
脂質	55.0g
炭水化物	232.1g
塩分	6.7g



昼食

- 朝食** 朝)ツナ入スクランブルエッグ
朝)洋風切干菜のハム和え/汁物/ご飯
- 昼食** 豚しゃぶ/汁物
桜ちらし寿司
- 夕食** さばの味噌煮/かぼちゃと鶏みねの煮物
うまい菜の細皮揚げのこの和え物/ご飯



夕食



2月26日『カルタ大会』

昔の演歌や歌謡曲を用いてカルタをしました。利用者様・職員共に大変盛り上がるレクリエーションとなりました。



日常生活行事活動状況

ニホンカモシカ



奥多摩には様々な自然動物が生息しています。本日はなんと『カモシカ』の訪問。玄関前まで遊びに来ていました。



3月22日『彼岸供養法要』

春のお彼岸の様子です。皆さん手を合わせ御詠歌をお唱えし、法話に耳を傾けて過ごされていました。



「コロナ感染症施設内発生状況」

1月8日から2月12日まで感染症対策にご協力頂きありがとうございました。ご家族・関係者の皆様にはご心配をおかけしました。36日間で利用者39名、職員13名、計52名が感染しました。感染のタイミングが2段階であったことと和風寮2階から1階へ拡大したことは対策期間の長期化や重症者の発生などサービス提供上憂慮すべき課題と考えております。

「利用者月別発生状況」

12月	0人
1月	37人
2月	2人
計	39人

◇編集後記◇

施設周辺に春の季節を感じ暖かくなりました。
気温の上昇と共に活動的に過ごして行きましょう。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今後の行事におきましても中止・変更することもあります。利用者皆様の健康・安全の為、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 4月
- ・花祭り（降誕会）
 - ・花見・新緑ハイク
 - ・外食会
- 5月
- ・マス釣り
 - ・外食会
- 6月
- ・外食会



今後の行事予定